

## 2・本校の研修の取り組み

令和5年度の本校の研修テーマを「自立活動」とし、年間で校内研修に取り組みました。内容の報告です。

### 「自立活動アンケート」結果発表（前編）

自立活動について、本校の実態を把握するために、アンケートを実施し、**67名の先生方**にご回答いただきました。アンケートの結果を、前編・中編・後編に分けてお伝えさせていただきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

#### (1) 支援教育の経験年数

ア. 1～5年目…22人      イ. 6～10年目…23人      ウ. それ以上…22人

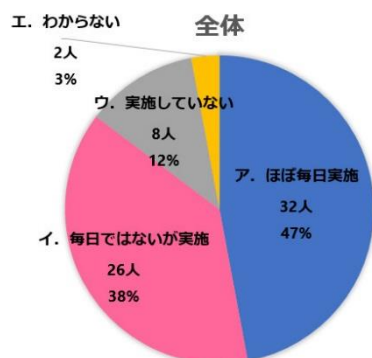
#### (2) 自立活動の指導を「自立活動」の時間に実施しているか



**8割以上**の先生方が、**特設された授業**において実施していることがわかりました。

「実施していない」と答えた先生方も、ほとんどが、「**日常生活の指導の中で取り組んでいる**」と回答していました。

#### (3) 各授業や日常生活の指導場面において、自立活動を意識して取り組んでいるか



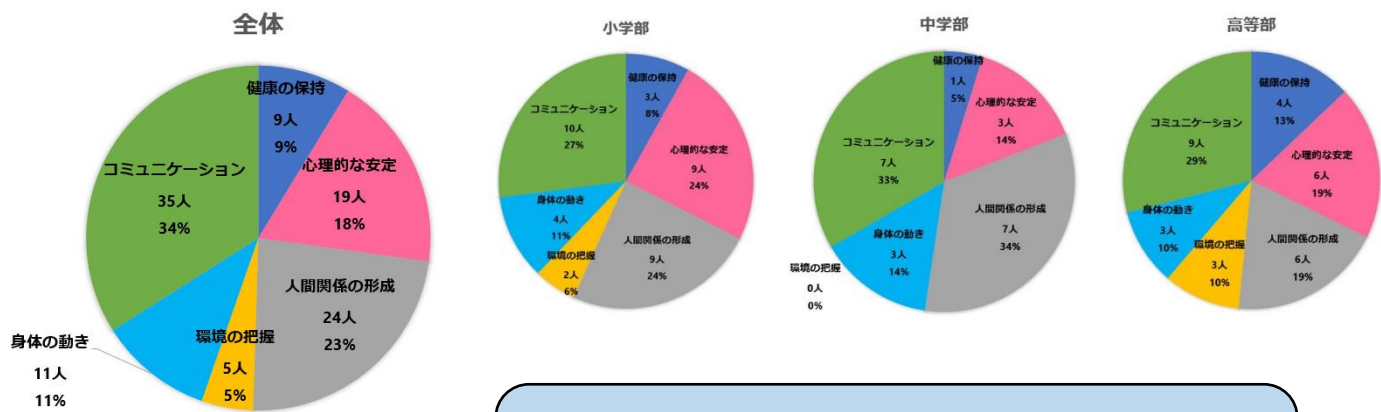
**9割以上**の先生方が、「自立活動」の授業以外でも、**意識的に自立活動に取り組んでいる**ことがわかりました！

#### (4) 「6区分27項目」を意識して目標設定をしているか



**6区分**については、**少しわかりにくい面**もあるようです。今後、情報発信していきたいと思います。

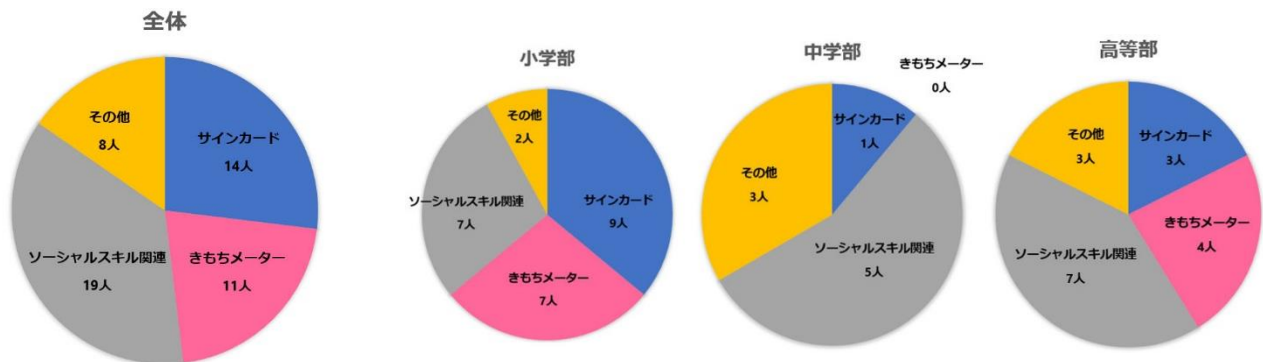
(5) 6区分の中で特に力を入れて取り組んでいる項目（複数回答可）



「コミュニケーション」「人間関係の形成」「心理的な安定」の指導に力を入れている先生方が多いことがわかりました！

各学部とも、傾向は似ていますね。

(6) 校内掲示で増やしてほしいもの



各学部のニーズに合わせて増やしていきます！

校内の掲示物は、教室に入りにくい子どもの支援や、日常生活のさりげない場面で子どもたちの学びのきっかけになるように、様々な場所に設置しています。今回、「精査して欲しい」という声もいくつかいただきました。「ここはスッキリさせてほしい」という具体的な要望がありましたら、ぜひ研究支援部までご相談ください。

# 「自立活動アンケート」結果発表（中編）

今回は「自立活動の具体的な取り組み」について、ご回答いただいた内容を紹介させていただきます（同一内容の回答については、一部まとめさせていただきました）。

## 自立活動の具体的な取り組み

### <健康の保持>

- (小)・朝、顔色などをチェックする（必ず会話をする）
  - ・生活習慣の形成、生活環境の形成
  - ・給食指導
- (高)・健康カードの記入（睡眠時間、体調等のチェック）
  - ・衣服の整理



### <心理的な安定>

- (小)・見通しが持てるようにスケジュールを提示する（視覚支援・環境調整）[3]
  - ・安心できる好きなものを準備する [2]
  - ・ルールを守って活動する
  - ・クラスの雰囲気を明るいものに常に保つ
- (中)・授業の流れを明確する
- (高)・気持ちカードの利用 [2]
  - ・情緒面でしんどいときなどは、休憩を取り入れる
  - ・1対1で話を聞く時間を設定する
  - ・生徒が興味のある教材を用意する
  - ・1コマで終わることのできるプリントや作業を準備する
  - ・毎朝の活動をルーティン化する（安心して取り組める活動・教材に配慮）
- (無)・見通しが持てるようにスケジュールを提示する

### <人間関係の形成>

- (小)・集団遊びの指導
  - ・関わり方についてのロールプレイ
  - ・物のやり取り
  - ・「押す」「叩く」等で意思表示をしている子どもたちは、人間関係の形成とコミュニケーションを一緒に意識して指導している
  - （友だちとの関わりで○・×なことを伝える。適切な方法を一緒に考える）
- (中)・友だちとの関わり方（あそび・手伝い）
  - ・集団あそびやスポーツなど、ルールを守って協力する場所を作っている
- (高)・カードゲーム
  - ・たくさん質問する

(無)・アンガーマネジメント (カード)

### <環境の把握>

- (高)・大きな音が苦手な生徒に、イヤマフや耳栓の利用を促す [2]  
・活動内容を表にまとめ、視覚的 (イラストなど) に理解し、行動ができるように支援する  
・やるべきことをホワイトボード等で視覚化しながら、具体的に伝える

### <身体の動き>

- (小)・箸の使い方           ・ペットボトルの開け閉め           ・ストローを串にさす  
・座位の保持           ・ストレッチ  
・重いものも、一人で持てるようにフォローしながら運ばせる
- (中)・目と手の協応をねらった作業  
・姿勢の保持 (集中力を高めることにつながる)  
・身体の柔軟 → 呼吸 → 身体を動かしやすくする   ・排泄の自立
- (高)・動作法
- (無)・身辺自立 (更衣・定時排尿)

### <コミュニケーション>

- (小)・絵カード、写真カードの使用 (視覚支援) [8]  
・サイン、ジェスチャーの使用 [6]  
・「ちょうだい」などの意思表示を増やす・気持ちを伝える [4]  
・言葉でのやり取り           ・丁寧語の指導  
・実態に応じて、コミュニケーションの取り方の幅を広げる  
  (言葉、ジェスチャー、選択肢、絵カードを触る) [2]
- (中)・絵カード (視覚支援) [2]           ・サイン           ・自分の要求を伝える  
・ことばづかいの指導 (ロールプレイングなど)           ・iPad の使用
- (高)・あいさつ (友だちとの会話、プリント学習) [2]           ・視覚支援  
・見本を提示する (報告の仕方など)           ・サイン           ・iPad の使用



たくさんのご回答、ありがとうございました。他学部の取り組みも含めて、ぜひ、指導の参考にしていただければと思います！

## 「自立活動アンケート」結果発表（後編）

自立活動アンケートの結果について、今回は最終回となります。今回は、「自立活動について、わからないことや悩んでいること」についてご紹介させていただきます。可能な範囲で回答させていただいておりますので、少しでも参考になれば幸いです。

### 自立活動について、わからないことや悩んでいること

<小学部>

- ・必要だという認識を維持しにくい
- ・やることがはっきりしない

自立活動の指導のための早見表



ぜひ、「自立活動の指導のための早見表」などを参考にしてみてください。指導の参考になることがたくさんあると思います！



- ・「きもちメーター」で自分のきもちを示した後、それをどのように次の流れに結び付けるのか（「今、イライラしてるから、やりたくない！」と主張したときなど）



まずは気持ちを共感して受け止め、「選択肢を提示する」「休憩を取り入れる」などの合理的配慮をしてみてください。少し落ち着いた後だと、活動に参加できるようになる子どもも多いです。

<中学部>

- ・保護者の願いの中に6区分のどれに当たるのか判断できない内容があるが、生徒にとっては必要な内容なので支援している



自立活動は「障がいによる困難の改善・克服」を目指すものです。保護者アンケートは自由記述のため、判断が難しい場合もあります。また、6区分は厳密に分けられるものではなく、重複する部分も多くあります。こちらもぜひ、「自立活動の早見表」などを参考にしてみてください。

- ・個人的には一人ひとりについて考えて実践しているが、学校全体を見ると、学活になっている場面が多い
- ・クラスで共有したり、じっくり内容を考えたりする時間がない

<高等部>

- ・他のクラスや学年で、具体的にどんな取り組みをしているのか知りたい（2）

ぜひ、「自立活動アンケート結果（中編）」を参考にしてみてください。

- ・担当する生徒が今までどんな取り組みをしていたのか分かる資料がほしい

個人ファイルに保存している過去の「個別の指導計画」を参考にしてみてください。

- ・自立活動で、すぐに使用できるプリント教材をたくさん用意してほしい

今後、教材共有や、書籍等を紹介していきたいと思います。

- ・周囲に影響を与えるような「こだわり」を軽くできないか…。



「こだわり」の種類にもよりますが、可能であればひとまず移動をするなどして、場面転換をしてみてください。「こだわり」そのものにアプローチするよりも、**本人が安心して落ち着いて過ごすことができる環境設定**が有効な場合が多いです。

- ・身体を動かせる場所と時間が欲しい（ランニングやウォーキングなど取り組みたい）

#### <学部不明>

- ・朝は出勤が遅いため、自立活動の時間を長く取れないことが多く、困っている

一人で抱え込まず、ぜひクラスの先生方に相談して、連携をしてみてください。

- ・書式に記録する日程が他教科と揃っていないのでわかりにくい

自立活動の指導計画の締め切りは、各教科と同じに設定されています。ご不明な点については、教務までご質問ください。



自立活動について、たくさんの取り組みや悩み事を共有していただき、ありがとうございました。今後も情報発信していきたいと思います！